

childvoice たちかわ

子どもミーティングの記録

～まちの防災を考えよう～



主催: 社団法人立川青年会議所

まちのかたち創造委員会

後援: 立川市、立川市教育委員会

協力: 立川市立第一小学校

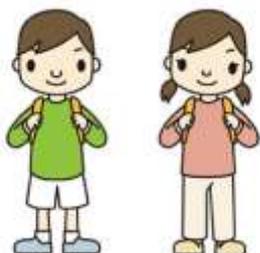
もくじ



時代を担う子どもたちの為に(立川青年会議所 まちのかたち創造委員会).....	2
参加募集.....	3
事前学習会①.....	4
事前学習会②.....	5
ミーティング.....	6
立川市 清水市長 ミーティング開催のご挨拶要旨.....	7
子どもたちの声(参加者感想文).....	8
立川市立第一小学校 操木校長先生からのメッセージ.....	15
行政担当課(防災課)からのメッセージ.....	16

childvoice たちかわ子どもミーティング資料

1 名簿.....	18
2 子どもたちの提案.....	19



次代を担う子どもたちの為に…

■childvoice たちかわ子どもミーティングの趣旨

10月30日立川青年会議所では、初めて「childvoice たちかわ子どもミーティング」を開催しました。その開催の想いは…

先の見えない閉塞感が漂っている現代社会において、何事につけ「どうせ誰かがやってくれる」と言った無関心や他力本願的な思考が蔓延していると感じます。しかし一方で、まちに活力があり、そして安心して健やかに暮らしたいという願いは誰もが持っているのではないのでしょうか。であるならば、改めてそれぞれの時代を生き抜いた先人たちの精神や知恵に学び、未来を担う子どもたちに胸を張って引き継げる社会を築くことが、現代を生きる私たちの責務だと考えます。

まちが活性化するためには、何より市民がまちに関心を持つことが大切だと考えます。その切り口として、次代を担う子どもたちが、地域社会を知る機会を通じて、子どもの時代からまちづくりへの関心を高めることが重要だと考え開催することとなりました。

■childvoice たちかわ子どもミーティングの概要

今回は、地域社会における「まちの防災を考えよう」をテーマにしました。東日本大震災以来、学校や家庭でも防災について改めて話し合われたことと思います。子どもたちにとって、日常の多くの時間を過ごす学校や家庭、そして自分たちが暮らすまちの防災について、学び考えることはとても有意義であると考えテーマに選びました。

立川市立第一小学校の五年生と六年生を対象として募集し、18名の子どもたちが参加のもと10月12日の事前学習会①を皮切りに、二回の事前学習会で学び体験する機会を通して、疑問に感じたことや意見・提案を、自らの言葉で立川市長とのミーティングの場で発表しました。

当日は、会場が市長応接室という普段と全く異なる環境と、また第一小学校の先生方が見守る中、出席した16名の子どもたちが自由な発想で、「転倒防止の器具などを配布して欲しい」「家族や友達、近所の関係をよくしておくべき」といった意見や、「学校のトイレトペーパーの数を5箱に増やすべき」など、現状を把握した上での具体的な提案がなされ、学びの成果を存分に発揮してくれました。

今回、childvoice たちかわ子どもミーティングを開催するにあたり、全面協力を頂きました立川市市民生活部防災課の新藤係長、そして本事業の趣旨にご賛同頂き会場のご提供並びに子どもたちの募集を行って頂きました立川市立第一小学校の操木校長先生を始めとする先生の皆様に、心から感謝を申し上げる次第です。

将来を担う子どもたちが、自分のまちに関心を持ち、どうあるべきか、真剣に学び考えることはとても重要なことです。今後も、こうした取り組みを継続的に展開し、“地域の未来の担い手”を育てていきたいと思っております。

社団法人立川青年会議所 まちのかたち創造委員会
委員長 宇都木健太

～事前学習会①（10月12日）～

10月12日(水)立川市立第一小学校にて、放課後の時間を使って18名の子どもたち参加のもと「事前学習会①」を開催しました。事前学習会①では、「childvoice たちかわ子どもミーティング」の第一段として、子どもたちの生活のメインステージである学校とその周辺を切り口に、防災を自分のこととして捉えることを目的に行いました。「こんにちわ～」と言って、元気よく会場の図書室に入ってきたことが印象的です。

18名ということで、6名を1グループとして、予め男女や学年がバランスよく混ざるようにグループ分けをしておきました。子どもたちはちょっと意外だったようで、驚いていました。初めに、今回の一連の事業と事前学習会①の流れを説明し、操木校長先生からもご挨拶を頂きスタートしました。

最初は、市の担当者から3月11日の東日本大震災時の立川市の状況や、「立川断層」のお話、災害時に学校が担う役割などのお話を聞きました。また、「これからテストを始めます！」と言って少し驚かせ（一瞬、図書室は「え～」と騒然となりました）、クイズ形式で防災設備の目的や設置場所などを考えてもらいました。毎日学校に通っていても、なかなか場所までは分からなかったようです。その上で、実際に防災設備を確認する為に外へ行きました。

学校周辺の地図を持ち、説明を聞きながら印を付け「防災MAP」を作成していきました。その後、校内に戻り、防災無線の確認や防災備品を保管しているの教室を訪れ、何がどの位あるのか、実際に手に触れながら確認しました。

最後は、図書室に戻って初日の感想を発表してもらい、事前学習会②の連絡事項を伝えました。そして、学校周辺と同様に、学校から自宅間での防災設備や危険な場所について調べてくるように宿題を出しました。（またまたここで騒然となったことは容易に想像できると思います。。）



グループに別れて講義(ドキドキ…)



防災テスト(校内防災探検)



学校の周辺を歩いて防災MAP作成



備蓄倉庫はどんな物があるのかな！？

～事前学習会②（10月16日）～

10月16日(日)17名の子どもたち参加のもと「事前学習会②」を開催しました。30日のミーティングに向けていよいよ発表内容を作る段階です。

午前中は防災館に行き、「地震」「消火」「煙」「映画」など震災が起きた時の状況やその時の対処について体験を通じて学びました。防災館は、小学校でも低学年時に訪れたことがあったとのことでしたが、成長している子どもたちにとって、受けとめ方は大きく変わっているようでした。また特に、「映画」は主人公が中学生ということで、子どもたちに伝わるとも良い内容だったと思います。色々体験してお腹も空いてきました。。「お弁当の中身は何？」と問い合わせが出始めたところで防災館で昼食を取りました。初日からのグループ毎に楽しくいただきました。

午後は、市役所の会議室に戻り、初日の宿題（防災探検まちあるき）の発表からスタートしました。実際に、近所にある危険な場所を撮影してくる子どももいて、子どもたちの素直な姿勢に感動しました！そして、初日同様に市の担当者からの講義を行いました。前回よりも少し大人向けの話でしたが、子どもたちはしっかり資料を見ながら聞いていました。

続いて、午後の後半はいよいよミーティングに向けた発表内容を考える為に、グループディスカッションを行い、その後各自が発表内容をまとめました。グループディスカッションでは、3つのテーマを順番に考え、それぞれがポストイットに書き出し、討議用紙に貼りだしていきました。

- ① 「まちの防災」の課題って何だろう？
- ② どうしたらいいのかを考えよう！
- ③ 自分達でできることは何？

子どものエネルギーはさすがです！勢いが出てきたらあっという間に、発表内容を考える所まで進んで行きました。



防災館での体験を通して学びました♪



グループでお弁当!(^^)!



グループディスカッション(意見出し) と結果を振り返り



発表内容をシート
にまとめました！

～ミーティング（10月30日）～

いよいよ子どもミーティング本番です！30日（日）立川市役所にて、childvoice たちかわ子どもミーティングの最終章「立川市長とのミーティング」を開催しました。さすがに本番当日ということで、子どもたちも少々緊張気味の表情を浮かべていました。

午前中は、新庁舎ということもあり庁舎の防災対策を見学し、また議場の見学をしながら議会の仕組みと役割について伊藤市議より講義を受けました。せっかくの機会ということで、議場を使用して発表のリハーサルを行いました。通常傍聴以外では入れない議場でのリハーサルで想像以上に緊張した様子でした。

昼食を取りながら午後の発表方法の確認と、マイテレビさんのニュースで放映された16日の事前学習会②の様子を視聴しました。この時ばかりは子どもたちから笑みがこぼれていました。

午後は、市長応接室に移動し、清水市長とのミーティングに臨みました。冒頭市長から「この場所は、職員でも滅多に入ることができない重要な会議をする場所なんですよ」と説明され、顔つきがグッと引き締まりました。それと、何より第一小学校の先生方がサプライズで傍聴に訪れたことが重なり、緊張もピークに達しているようでした。予め、子どもたちの発表内容を基に、6つのグループに分類し、そちらに沿って発表を進めて行きました。まず備え付けのマイクを使って（これも練習しました）一人一人が発表を行い、グループ毎に市長から答弁を頂く形を取りました。ですが市長からは、それぞれの発表内容について事細かく答弁頂き、子どもたちも事前学習会で学んで感じた事をしっかり伝えてくれました。欠席者の発表内容は青年会議所メンバーが代読しました。

最後に、これまでの事前学習会とミーティングを通じた感想を2名からもらい閉会となりました。終了後、清水市長のご好意で、市長室を見学させていただくことが出来ました。この時ようやく、緊張から解放されたのか、いつもの元気な子どもたちの表情に戻っていました！



市役所って免震構造なんだ



議場を使ってリハーサル



いよいよミーティング開始



一人ずつ発表しました



最後は市長室で「ハイチーズ」

立川市 清水市長のミーティング開会のご挨拶要旨

皆さん、こんにちは。

この部屋は、市の方向を決める政策会議を行うための部屋です。

ですから、来年度の立川市はこういう事をやりましょうとか、この様にやりましょうとか、震災の対応をどういうふうにしたらよいかなどを話し合う場所です。

3月11日の震災の時には、この部屋が防災対策本部になりました。私も一晩寝ずにこの部屋で職員の皆さんと会議をしながら、立川駅近辺で家に帰れない人たちが2,600人位いたのですが、その人たちを助ける為に、色々な準備の会議をしました。この部屋はそういう部屋です。ですから、皆さんがこの部屋で会議をするというのは、今後そう簡単にはないと思います。

通常一般の人たちが市役所で会議する時は、別の部屋で行っております。そして、市の職員でもこの部屋で会議ができることを名誉に思っておりますから、是非皆さんもそう思って、一生懸命今日の会議をやってもらいたいと思います。これから色々な質問や意見が出されると思いますが、私もしっかりお答えしていきたいと思いますので、今日一日どうぞ宜しくお願い致します。



子どもたちの声

終了後、参加した子どもたちから感想をもらいました。

(感想文は基本的に子どもたちが書いてくれたそのままの形で掲載しています。)

すごい体験をした

5年1組 広瀬 光輝

ぼくは市役所で三つのすごい体験をしました。

一つ目は、立川の色々な事を決める、議場に入れた事です。ぼくは議長せきにすわったり、色々な、えらい人のせきにすわりました。すごい体験をできました。楽しかったです。

二つ目は、市長さんたちが話し合う所で、ぼくたちが調べた、防災について市長さんと話せたことです。しかも、たまに、テレビに出るようなマイクで話しました。少しきんちょうしました。

三つ目、なんと、市長室に入れた事です。そして、市長さんのいすにすわれました。すごいきちょうな体験ができました。本当に、もうないかもしれない体験ができました。楽しかったです。

感想文

5年1組 小泉 崇裕

ぼくは、今回の防災のことについて知る、というのは、良いけいけんになったと思います。

ぼくは、前から少し防災のことは気になっていたのですが、今回行ったことでもっと良くわかりました。なので、また開いてほしいです。市長さんと話せたこともうれしかったです。

たぶん、もう市長さんと会うことはないと思います。なので、すごうれしかったです。特に、市長室に入ることができたのは、一番うれしかったです。防災のことも、もっと知りたいし、市長さんにも、また会ってみたいので、またやってください。

子どもミーティングについて

5年1組 高野 倫実

わたしは、防災についてきになったので、このべんきょうかいにさんかしました。一回目は、図書室でビデオを見たり、本物のむせんきをみせてもらいました。二回目は、市役所にはじめていきました。二回目は、はんになって、じぶんたちのきもちをふせんにかいて、かみにはったり、次回のはっぴょうのじゅんびをしました。さいごの日は、ごぜんには、市役所のいろんなところをせつめいしながらおしえてもらいました。お昼のまえにも一回ほんばんのようにれんしゅうしました。ちゃんとしちょうさんとはなせたのでよかったです。

わたしは、このべんきょうかいにいて、市役所も思ったより、いろいろなことをかんがえているんだなと思いました。

ミーティングを通して

5年1組 江藤 るな

私は、ミーティングを通してわかったことがたくさんありました。一日目では、学校の中や周りの道路、町中に防災設備や危ない場所があることがよくわかりました。二日目では、防災館に行って地震体験やけむり体験、消火訓練などをして、より一そう防火についての知しきがえられました。

この二日間を通して三日目の市長さんとのミーティングでは、まとまった意見を発言できました。この三日間で防災について、もっと関心をもてました。これからもいろいろな事を調べたりして、知しきを深めて行きたいと思います。

三回のミーティングでわかったこと

5年1組 丸山 未悠

私は、この三回でわかったことが、三つあります。一つ目は、一回目で、一小的周辺で火事の時とかにつかえるもの、あぶないものがわかりました。二つ目は、二回目でどうしたらいいとか、そのために身近でできることがわかりました。三つ目は、三回目で市役所のさいがいの時に役立つことや無線のことがわかりました。私はこの三回のミーティングで、さいがいについて、もっと色々なことを知りたいと、思いました。

ミーティング

5年1組 大関 未来

一日目は、学校の図書室で地しんのことについて話しました。災害の時は、むせん機が活やくしたと聞いて、ビックリしました。関東大しん災が、起った時の立川は、しん度六だったそうです。立川は、非常にじばんが強いらしいです。

二日目は、防災館へ行きました。

まず、一番最初に、「けむり体験」をやりました。ハンカチをしても、すごく苦しかったので、出口に来た時はすごくうれしかったです。次に、「消火器体験」をしました。大きい画面に火がもえているえいぞうが、うつし出されそれを消火器で、消すという体験をしました。実さいに火事が起きた時に、消火器のやり方がわからなかったら大変になるので、めったに出来ない体験が出来てすごくうれしかったです。

三日目は、市長さんと話しました。市長に、質問するのは少しはずかしかったけど、がんばって質問しました。市長は、私たちが、質問したことをポンポンと受け答えてくれてすごいと思いました。すごく、勉強になった三日間でした。

身近な防災で防げる災害

5年2組 堺 桃子

私はチャイルドボイスを通して身近なところに防災があることがわかりました。それは、道路やマンションなどに消火器があることがわかりました。そういうことがわかることで、もし、火災が発生しても、初き消火ができることがわかりました。

もう一つは、身近なところに防災館があり、防災館でいろいろなことを訓練することで、事前に火災などを防げます。そして、それを本当のときにやることで、生ぞんりつも高まることがわかりました。

もう一つは、つっぱり棒やL字金具をつけて、たんすやたななどをとめて、じしんのときにたおれないようにすれば、けがをすることもあまりなくなることがわかりました。

家でもできる防災

5年2組 小高 綾香

私はこの三日間のチャイルドボイス子どもミーティングで、改めて地しんや火事のきょうふを知りました。なので、家族のみんなでひなん所を決めておいたり、近所の方々と仲良くなっておいて、いざという時に助けあえるようにする、しん室のたおれそうなたなにはL字金具をつけるなどという工夫を家でもやりたいと思います。

今回のチャイルドボイスで学んだ、首都直下地しんについて、地しんはいつ起こるかわからないので気をつけて勉強したり、遊んだりしたいと思います。

三日間通して思った事

5年2組 寺門 彩花

私は三日間通して思った事が三つあります。

一日目の図書室は、テレビを見て、「なんでこんな事になるの?」と思っていたけど、学校のまわりを見て、少し安心しました。

二日目の市役所では、グループで考えて、「私とおなじ考えなんだな」と思いました。

三日目の市長さんと話した時は、とてもきんちょうしたけど、「案外イイ人だな」と思いました。発表するとき、少しきんちょうしたけどうまく発表できました。私は、「協力」をして近所の人と関係をよくしたいです。災害でも助けあえるようにしたいです。

防災ミーティング

6年1組 萩原 大貴

ぼくは、防災子どもミーティングをして、学校やそのまわり、市役所の防災、災害時役立つものを見ることができました。学校の備ちく倉庫を見て何か足りないかなと思いつつも、ちゃんと防災に備えてものが準備されているのだなと思いました。市役所は、地震と一しょにゆれてこわれにくい免震こう造という不思議な建物を初めて見ました。

最後の日に、清水市長と話してそのときは、自分の意思をきんちょうしながらも、ちゃんと言えたのでよかったです。その後に市長室に入ったりして自分でもすごいなと思いました。

この防災ミーティングをとおして、色々なことを知ったり、体験して、やってよかったなと思いました。

ミーティングの感想

6年2組 田代 秀介

ぼくは、最初ミーティングなんてどうせ出ないからと思って手紙を捨ててました。それで、しばらく日が過ぎると上田君にさそわれて、でも行く気がなかったので、上田君にむかって、「え〜。」って言ったたら先生が来て「お前もでろ」と言われてしょうがなく手紙をもらって出しました。でもとってもミーティングは、わかりやすい説明でとっても楽しく学べてよかったです。それに一小的まわりにタンクとか色々あってびっくりしました。備蓄そう庫の中にあんなに役立つ物があったのですごいな〜と思いました。でも知らなかったってことは、そんなに発表されていないことなので発表した方が、ぼくは、いいと思いました。とってもいい勉強になったと思いました。ほかにも、立川断層のこととか地しんに強い建物のこととかもきいたのですごくいい勉強になりました。市役所の安全せつびもすごかったです。建物の中に大きいゴムが入っているのが一番びっくりしました。それに市役所の人たちは、みんなやさしかったのでよかったです。市長さんもとってもやさしかったです。今度もこういう行事があったら行きたいな〜と思いました。とっても勉強になりました。これにとっても楽しかったです。



ミーティングの感想文

6年2組 加藤 健太郎

ぼくは、ミーティングでいろんなことを知りました。まず一回目は、学校で話をきいたり、びちく倉庫を見せてもらいました。びちく倉庫は、はじめてみて、いろいろなものがおいてありびっくりしました。食糧やもうふがたくさんありました。二回目の時は、市長さんにきくことなどを考えました。たくさん質問をおもいつきました。市役所は、意外ときれいでした。しかも市役所は、とても広くさらにお昼のべんとうは、おいしかったです。あと防さいかんにも行き消火をする練習をしたり、けむりの中を歩いたりするのをやったりしました。そういうのを経験してとてもいい経験になりました。三回目は、市長さんに発表することをさいしょに練習しました。そして本番で丸山先生がきたのでおどろいたし、とてもきんちょうしました。でもかまないでいえてよかったです。

ミーティングに行つての感想

6年2組 和田 歩乃可

私がミーティングに行つて思つたことは2つあります。

1つ目は16日なのですが防災館に行つて皆でいろいろな体験もしました。以前に学校でミーティングに行きましたが消火体験はしませんでした。でもミーティングに参加してきました。

ほかに地震体験では震度7までやりました。すごくゆれて、あんなのが急にきたらメッチャ危ないなんて思いました。

次に2つ目はシアターを見ました。見た事あるやつかな？と思つたらちがう話でいい、勉強になりました。なのでうれしかったというかへ～やはり危ないのでこんなのが急にきたら最悪だ～なんておもいました。なので、家の家具にささえをつけて安全にしたいと思いました。でもささえはしてないのでしようかなと思いました。とにかくいい体験になったのでよかったです！？



立川子どもミーティングに行つて

6年2組 小川 成美

わたしが3回、立川子どもミーティングに行つてわかつたことや、よかつたことは四つあります。一つ目は、地しんや火災が起きたときに、どうしたらいいのを知れたことです。防災館に行つたことで、知れてよかつたです。

二つ目は、市役所のいろんな所を見てまわられたことです。市長室や、関係者以外は入れないところも入れたりして、よかつたです。

三つ目は、市長さんに会えたことです。立川市で一番えらい人に会えて、とても貴重な体験だし、市長室にも入れてもらったので、よかつたです。

四つ目は、防災館に行けたことです。地しん体験や、消火体験などができました。とても楽しかつたです。しかも判定はAだったのでよかつたです。また、行きたいと思います。

子供ミーティングに参加して

6年2組 落合 時生

ぼくは、子供ミーティングに参加しようと思つたのは、先生が、参加できる人は参加してと言つていたので、せっかくのきかいだから、参加してみようと思ひ、参加しました。学校の周りを、まわつてみて、いままで、しらなかつた所に防災道具があつたし、しらなかつた防災道具が知れた。

2日目、防災館に行つて、色々な体験ができました。午後は、防災館で学んだことや、調べたことを、まとめました。3日目、市役所の中を、見学して、リハーサルをして、本番になりました。すごくきんちょうしました。一番最後だったので、みんなが、しゃべつてゐるのを聞いて、ますます、きんちょうしたけど、うまく、しゃべることができました。ぼくは子供ミーティングに、参加して、防災について、よくしれたので、よかつたです。

感想文

6年2組 上田 優希

ぼくは、町の防災について学んで、最初のほうは、よくわからなかつたしめんどくさくていやだつたけど防災かんなどに行つて実さいに、いろいろな体験をしていくうちに、だんだん町の防災について分かるようになって行きました。次に市長に自分の意見を言うというのが目的だったのでがんばつて防災のことについて学びました。ぼくは新しい市役所に入つたことがなかつたので初めて入れてよかつたです。特にほんとうだつたら入れない所にも入れて、むせんがおいてある所も見れて良かつたです。そしてぼくは、市長に歩道橋を少なくして、地下道を増やした方がいいという意見を言うことにしました。そしてついに市長に意見を言う日がきました。午前はミーティングをして午後には市長に意見をいひました。先生たちもきていたのできんちょうしたけどちゃんと言えてよかつたです。

感想

6年2組 池田 悠乃

私は、3日間防災について、学び、学校の周りを、調べたり、防災館で、体験をして、身近の防災を、しんけんに、考える機会が、できました。

月に一回は、身の周りの防災を、調べたり、家族で話し合ったり、してみたいです。また、このことを、いかし、地しんが、あったら、積極的に、きゅうじょしたり、ボランティア、また、ぼ金などに参加したいです。また、一小的のびちくそう庫を見て、カンパンや毛ふが、あったので、安心しました。けれど、トイレトペーパーが、各校1個しかないのは、大地震が、おきた時大変だと思いました。

16日に行った、防災館では、消火体験をしました。消火器は、とてもおもかったです。けむり体験では、けむりが、1秒間に、行くきよりを教えてくれました。本番では、とても、きんちょうしたけれど、とても、たのしかったです。

ミーティングの感想

6年2組 石井 友基

ぼくは、三回目のミーティングは行けなかったけれど、それまでの二回のミーティングに行って良かったことは二つあります。

一つ目は、一小的の安全設備について知れたことです。いろいろな場所にいろんな設備がありました。たとえば、ちょ水タンクです。ちょ水タンクは、一小的の周りに三つもあったのでおどろきました。備ちく倉庫には、非常食、くつ下、トイレトペーパーがものすごく多くありました。なので災害が起きても安心だなと思いました。

二つ目は、防災館に行けたことです。防災館でやった地しん体験は、この前来たときにはしん度五までしか体験できなかったけれど今回はしん度七まで体験することができました。しん度七はかなりゆれたのでこわかったです。このほかにもはじめて市役所の会議室に入ることができてすごくうれしかったです。



立川市立第一小学校 操木校長先生よりメッセージを頂きました

今回、次世代のあるべき姿を見据え、明るい社会の実現を目指し、様々な活動をされている社団法人立川青年会議所より、立川市立第一小学校の子どもたちと立川市長との意見交換の場『childvoice たちかわ子どもミーティング』のご提案をいただきました。その企画の素晴らしさと、「将来を担う子どもたちが、自分のまちに関心を持ち、どうあるべきか、真剣に学び考えることはとても重要なことです。今後も、こうした取り組みを継続的に展開し、“地域の未来の担い手”をはぐくんでいきたいと思います。」という立川青年会議所の皆様方の姿勢に感銘を受けました。



立川市立第一小学校
校長 操木 豊

日頃より私は、子どもたちが自己の将来に夢をもち、未来社会の変化に主体的に対応し創造的に生きていくことができるよう『一人一人が輝き、共に生きる力』をはぐくんでいきたいと願っています。そのため、近隣の立川一中・四小と共に「立川一中校区小中連携教育校」として、主体的に生きる態度と力を身に付けるための小・中9年間を見通したキャリア教育を、計画的・系統的に進める指導の在り方の研究及び活動を進めています。中でも、未来社会の変化に主体的に対応し創造的に生きていくために特に大切とされる「人間関係形成能力」と「コミュニケーション能力」の育成に力を入れてきています。

今回の『childvoice たちかわ子どもミーティング』では、地域社会における「まちの防災を考えよう」をテーマとして、学校・地域・立川市役所・立川防災館に於いて2回の事前学習会が行われました。子どもたちはその学習活動を進める中で、地域社会を知り、まちづくりへの関心を高めることができました。更に、立川市市民生活部防災課や東京消防庁立川都民防災教育センター（立川防災館）の方々、そして、立川青年会議所のスタッフの皆様方との人間関係を形成し、コミュニケーション能力を高めていきました。

また、市長応接室で行われた立川市長とのミーティングの場では、学校や家庭、自分たちが暮らす立川市、更には柴崎町の防災について学び、考えた意見を、自らの言葉で具体的に発表し提案をすることができました。そして、市長より、お答えやアドバイスをいただいたり、意見交換をしていただいたりする中で、子どもたち一人一人の言語力を高めることができました。

本校では、言語は知的活動（論理や思考）だけでなく、コミュニケーションや感性・情緒の基盤であると考え、平成 22・23 年度 立川市教育委員会研究協力校として『自ら考え、豊かに表現できる児童の育成』～言語活動の充実をめざして～の研究を進めてきています。

国語科はもちろん、各教科においても言語活動を充実させて言語力を育てる。その力をもとに他教科、他領域の学力向上を図る。そして、子どもたちに、自己の将来に夢をもち、主体的に生きる態度を身に付けることをめざしています。



今回の『childvoice たちかわ子どもミーティング』は、まさに本校がめざす、子どもたちが未来社会を心豊かにたくましく生きるための『一人一人が輝き、共に生きる力』をはぐくむ取り組みとすることができました。

このような機会を与えていただきました立川青年会議所の皆様方に、心より感謝を申し上げます。

行政担当課からメッセージをいただきました

防災課の新藤係長には、3日間講義や見学のご協力を頂きました

childvoice たちかわ子どもミーティングに参加してくれた1小のみんなへ

立川市役所
市民生活部防災課
新 藤 博

1小のみんなが提案してくれた内容には本当にビックリしました。

市役所としてもすぐに取り組まなければいけない事や、実現するためにはお金や時間がかかってしまう事など、さまざまな意見がありました。

こんなにたくさん提案をしてくれたことから、みんなが2回の事前学習だけでなく、家に帰ってからも「防災」についていろいろ考えてくれたことがわかりました。

事前学習の中でも話しましたが、防災について考える上で大切なことは、大きな地震が起きたらどう行動するか、ということ普段から想像してみることです。

家にいる時に大地震が起きたら？

まずは自分と家族が大丈夫か確認して下さい。

家族が無事だったらすぐに避難所に行く？

家のそばで火事は起きていないか、近所に住んでいる人たちが大丈夫か確認して下さい。

大地震の時は、救急車や消防車はすぐに来てくれません。

近所の人たちで「助け合う」ことが最も重要だということ覚えておいて下さい。

そのためは、普段から近所の人たちと顔見知りになり、仲良くすることが大切です。

防災訓練や町民運動会、お祭りなどの地域の行事に積極的に参加することが、大地震の時に助かることにつながります。

今回の事業に参加させていただき、私自身もたいへん勉強になりました。

どうもありがとうございました。

最後に操木校長先生をはじめ立川市立第一小学校の先生方、そしてこの企画・運営を行っていただきました立川青年会議所の皆様に厚く御礼を申し上げます。



childvoice たちかわ子どもミーティング資料



- 1 名簿
- 2 子どもたちの提案



1 名簿

立川市立第一小学校



5年1組

江藤 るな

大関 未来

小泉 崇裕

高野 倫実

広瀬 光輝

丸山 未悠

5年2組

小高 綾香

堺 桃子

寺門 彩花

6年1組

萩原 大貴

6年2組

石井 友基

池田 悠乃

土田 優希

小川 成美

落合 時生

加藤 健太郎

田代 秀介

和田 歩乃可

2 子どもたちの提案

子どもミーティングは子どもたち一人ひとりが主役です。

発表は一人ずつ全員が行いました。

参加者宿題や事前学習会を通して、「どんなことが必要なんだろう？」

「何ができるだろう？」を何度も考え、それぞれの提案を発表しました。

そして、子どもたちの発言に、市長が答えました。

市民一人ひとりの心がけがあれば、実現可能な防災対策

クラス	名前	発表内容
6年2組	小川 成美	わたしは、家族の中で、地しんの時や、火災が起こった時に、どこで集まればいいのかを、話合った方がよいと思います。そうすることにより、地しんや火災の時に、話合った場所に行ければ、家族に会える確率が高まるし、それをポスターにして電柱にかけて、みんなに伝えるといいと思います。
5年2組	寺門 彩花	私は、家族や友達、近所の関係をよくして、災害などに助けあえる関係にしたほうがよいです。もし、家族や友達、近所の関係が悪かったら災害の時、助けあえないからです。だから、家族や友達、近所の関係をよくできる町づくりをしたいです。
5年2組	小高 綾香	私は、立川の家のみんなの人に転倒防止のためのつっぱり棒やL字金具をつけると思います。理由は、もしも首都直下じしんなどの大きいじしんの時に、L字金具やつっぱり棒をつけないとすぐにたおれてしまって、人がはさまれてしまうかもしれないけど、つけていればたおれてくることもなく、人がはさまれてしまう可能性も少なくなると思うからです。

防災用具の充実・活用に関する施策

クラス	名前	発表内容
5年1組	江藤 るな	せっかく地震や火災について色々なたいおうや道具があるのに、それをしょう介したり、説明してりするきかいが無いので、地いきや学校のひなんくんれんでも、もっとたくさんのことを伝えたり、月1回くらいの手紙を回したり、市役所からもっとわかりやすい(おとしよりなどに)資料を出したりすればいいと思います。
5年1組	丸山 未悠	私は消火器をもっとふやしてほしいと思いました。なぜかと言うと、だれでもかいてある手順でやれば火事の初き消火できるからです。だけど、消火できるぐらいの火が一本でもきえなかったら、追加したり、何本かで、ちいきの人たちとやれば大きな火事にならなくすむから消火器をもっとふやしてほしいと思いました。

6年2組	石井 友基	せっかく防災用具などの災害時に役立つ道具があるのに、それがあまり、ふきゅうしていないから市民に無しようで提供するなどをしてほしい。
6年1組	萩原 大貴	せっかく防災用具や災害時に役立つ道具があるのに、それが70%と結構普及しているけど、より100%に近いほうがいいので、防災用具を無しよう提供したい。 この道具はこういう風に役立つかを市民に言ったりしてほしい。

避難場所・避難施設に関する施策

クラス	名前	発表内容
5年1組	小泉 崇裕	ぼくは、備蓄そう庫の中にトイレトペーパーが、どの小中学校にも1箱しかないの、5箱ほどふやした方が良くと思います。 理由は、首都直下地震がおきた時46902人ひなしてくるという想定になっていて、小中学校は、30校あるので、わると1563人。多分みんなトイレなどで使うので、5箱ほど増やしたらいいとぼくは思います。
5年1組	大関 未来	避難所せんようのしせつを作ってください。そして、非常食もふやしてください。
6年2組	加藤 健太郎	ひな場所が学校とかだとたくさんの人数が来たら食糧もたりないし、はいれない人もいるから、ひなん所専用のたてものをつくたほうが良いと思います。
6年2組	田代 秀介	ひな場所や安全場所を増やして。それとたおれにくくする。たてものの高さを低くする、とかくふうをする。

通信手段に関する施策

クラス	名前	発表内容
5年2組	堺 桃子	私はしんさいの時、学校にいて、家族に連らくがとれなかったことがあります。なので、学校に電話などを持ってきていいことにして下さい。 なぜなら、最初にも言っているように、しんさいで家族に連らくがとれないことがあって、不安が大きくなるからです。そして、たとえ連らくがとれなかったとしても、さいがいに伝言ダイヤルをすれば、連らくがができるからです。なので、学校にけいたいをもっていいことにして下さい、お願いします。
6年2組	和田 歩乃可	<ul style="list-style-type: none"> ・けいたいにも、むせんのようにできないのか。。 ・むせんは全員持つてるほうが良い。 ・むせんも消火器のように各地に置けないのか。。 ・むせんを各地に置けば、きん急の時にやくだつ。 ・むせんは全員持っているほうが安心。

道路、公共施設に関する施策

クラス	名前	発表内容
6年2組	池田 悠乃	私は、ブロックベいは高さを、ひくくしたり、フェンスにかえてほしいです。 理由は、ブロックベいでは、地震でくずれてしまい、近くにいるいっばん人や、小さい子供や、体にしょう害のある方、老人などがいると、ケガをしてしまう可能性があるので、くずれる心配をなくすため、ブロックベいの高さをひくくしたり、フェンスにかえてほしいです。
5年1組	高野 倫実	大地震がくるとブロックベいのしたじきになって、みつからないばあいがあるので、大地震がくる前に、何年かかけて、ブロックベいをフェンスにかえてほしいです。
5年1組	広瀬 光輝	きんきゅう車せん用の道路を作つたらいいと思います。理由は、3月11日の地しんで道路がすごく、じゅうたいして、パトカーやきゅうきゅう車などのきんきゅう車が行きたい場所に行けなかったから。

次世代型の防災都市づくりに関する施策

クラス	名前	発表内容
6年2組	上田 優希	歩道橋を少なくして地下道を多くする。 理由は、地しんで歩道橋がたおれたりそれで、道がふさがってしまうから。でも地下道ならたおれないし、たおれたものがあたらないから、ひなん場所になるから。
6年2組	落合 時生	てい電になっても信号や、がい灯が消えないように、太陽光パネルや、じか発電機を取りつけてください。 理由は、てい電になった時、信号やがい灯が消えると、交通事故などがおこって、もっときけんになるからです。





childvoice たちかわ子どもミーティングの記録

発行 2011年12月9日
社団法人立川青年会議所
〒191-0065
立川市曙町2-38-5
立川ビジュアルセンタービル12階
TEL042-527-1001 FAX042-527-6600
URL <http://www.tachikawajc.or.jp>
E-MAIL info@tachikawajc.or.jp
編集 社団法人立川青年会議所
まちのかたち創造委員会